



導入事例

Category



イベント



屋外

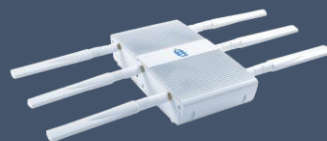


ライブ

“CASE

九州朝日放送株式会社 様

ライブ配信を行う際のコスト削減の取り組み
ゴルフだけでなく、様々なスポーツ中継において、
ケーブルレスでの簡易中継が実現できる可能性を感じられる結果に



導入製品：PCWL-0400

業種：イベント

導入規模：従業員数/101～500名



導入のきっかけ

ゴルフトーナメントにおいて ライブ配信を行う際のコ ストを下げる取り組み

男子プロゴルフ大会であるKBCオーガスタゴルフトーナメントにおいて、ライブ配信を行う際のコストを下げる取り組みとして、PicoCELA社のアクセスポイントを利用して実験を試みようと考え、コース内にアクセスポイントを複数台設置することでホール全体にWi-Fi環境を構築して、プレイ映像の無線伝送を試みました。



導入のきっかけ

様々なスポーツ中継において
ケーブルレスでの簡易中継が実
現できる可能性を感じた

実際は、ティーグラウンドのカメラ映像とゴルフの球を追うためにグリーン側に設置したカメラ映像に起きるIP化による通信の遅延を懸念し、遅延の影響がないリーディングボードを撮影する固定カメラ1台のみを無線通信とし、他のカメラは従来どおり有線での中継としました。

ティーグラウンド側に設置したリーディングボード用のカメラ映像をエンコーダーによりIP化し、PicoCELA社のアクセスポイントを経由して映像配信センターのデコーダーに送信して、複数の映像を切り替えるためのスイッチャーまで届けることができました。

150m程度離れたティーグラウンドとグリーン付近を無線で映像伝送できることが分かりました。

この実験により、ゴルフだけでなく、様々なスポーツ中継において、ケーブルレスでの簡易中継が実現できる可能性を感じられる結果となりました。



無線は放送には使えないと思っていたのは間違っていました。

第1目固定カメラ(DrivingRange)



無線は放送には使えないと思っていたのは間違っていました。
今はケーブル配線の悩みからついに解放される日が来たと思っています。
今後は放送によって海外の視聴者を獲得し、新たな広告収入源の拡大
へ向けたきっかけづくりができればと考えております。

PCWL-0400の屋外版、配線無しで 屋外無線通信網を構築

「PCWL-0400」は、今まで無線LANの導入を諦めていたエリアの無線化や一時的な無線LAN網の構築を可能にします。

企業向け無線LANアクセスポイント機能により、無線LANのアクセスポイントとしてお使いいただけると同時に、エッジコンピュータとして様々なカスタマイゼーションが可能です。

無線LAN規格：IEEE802.11g/n/a/ac、2.4GHzと5GHzの同時送信が可能

幅・奥行・高さ：215mm × 115mm × 50.5mm

重量：約1,150g

動作温度：-20～50℃

保存温度：-20～50℃

取付金具：専用取付プレート、VESAマウント対応



管理を超える付加価値を追求したクラウド管理ツール

管理を超える付加価値を追求したクラウド管理ツール PicoCELAの無線バックホールテクノロジーが搭載された種々の機器（PicoCELAデバイス）と連携するクラウド管理システムPicoManager®。PicoManager®によって、さまざまなPicoCELAデバイスを維持管理できます。しかし、PicoManager®の本領は維持管理にとどまらない高い付加価値サービスの提供にあります。



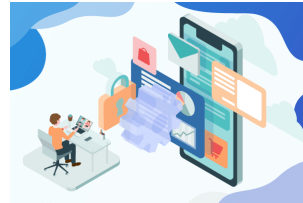
★
人の流れを解析する



★
品質を可視化する



★
ユーザー情報を取得する



★
遠隔操作での管理を実施する



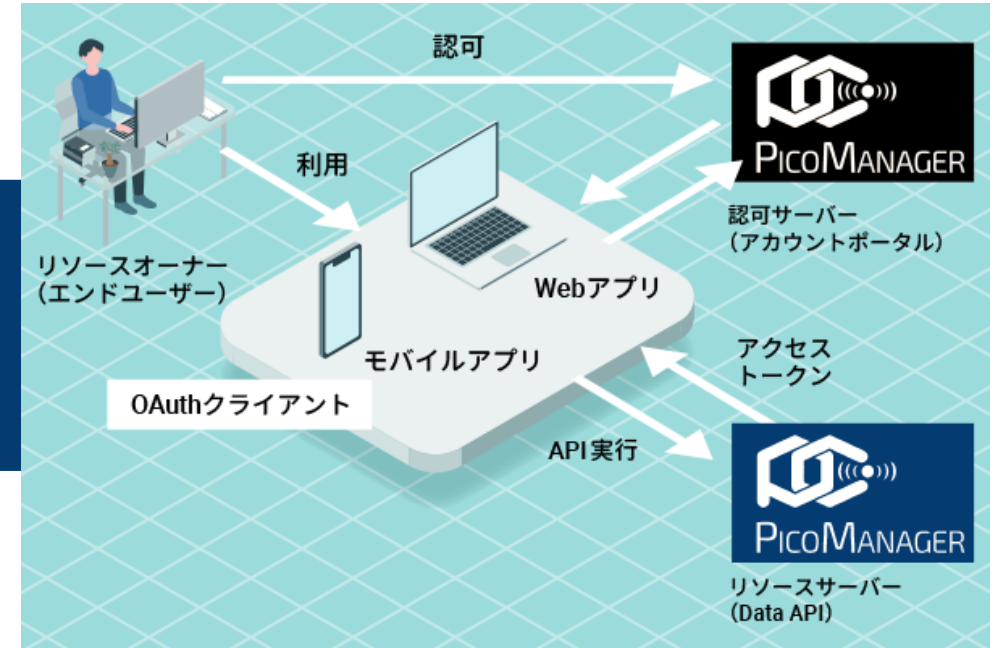
★
得られた情報を分析する



測位API

測位空間を簡単構築、Web APIで他社ソリューションとの連携を加速

PicoCELAのWi-FiメッシュによりLANケーブル配線を著しく削減しつつ、広大なWi-Fi空間を低コストかつ短期間に構築することができます。各PicoCELAデバイスはクラウドシステムPicoManager®と連携し、測位機能を提供します。



資機材の所在場所管理

例えば、広大なキャンパスを有するプラント。様々なIoT機器や資機材が運用されていることでしょう。PicoCELAデバイスをキャンパス全域に張り巡らし、各機材にBLEタグを貼付すれば、これら資機材の位置をモニタリングすることができます。各機材の位置情報は本測位APIによって参照可能。本測位APIを活用するだけで、独自の資機材所在場所管理システムを短期間で開発することができます。また、キャンパス全域を網羅するPicoCELAデバイス群は、IoT機器のWi-Fiインターネット通信のためのインフラとしても同時に活用できます。



業務系クラウドシステムとの連携

オフィスでの勤怠管理システム、ショッピングモールでのPOSデータ管理、倉庫や流通センターでの在庫管理、駐車場でのパーキングロット管理など、業務系デジタルソリューションはクラウドで実現させることが当たり前の時代になってきています。これらのクラウドシステムが本測位APIを活用することで端末位置情報という新たな情報を把握できるようになり、ソリューションの価値を高めることができます。

©PicoCELA Inc.

インドアナビゲーションアプリ

広大な構内の端末位置測位はGPS電波を利用することが難しく、これまで困難とされてきました。複数のPicoCELAデバイスを適切に配置すれば、各フロア単位の3次元位置測位も実現可能。スマホやタブレットで動作するナビゲーションアプリが本測位APIを活用することで、インドアナビゲーションを実現することができます。



PicoCELAについて

エッジとクラウドが連携したIoTプラットフォームを創造します

PicoCELAが目指すのは、新しい時代を支えるプラットフォーム事業の創造です。

現在、従来型の通信ネットワークは、周波数資源の限界やモバイルの爆発的なトラフィック量の増加、それに伴うユーザーエクスペリエンスの低下といった深刻な課題を抱えています。この喫緊の課題に対し、ひとつの解決手段を提供するのがPicoCELAのデバイスとソリューションです。

PicoCELAのデバイスとソリューションは、あらゆる人々が快適で廉価な通信サービスを楽しむ社会の実現に貢献するインフラ基盤技術であるだけでなく、人々の生活空間に偏在する情報とインターネットを今以上にフレキシブルに結びつけて、情報通信産業に革新的な数々のサービスをもたらす立役者となるものです。

